

図書館だより

令和2年4月8日発行

No.Ⅲ－第13号

編集・発行

武蔵野市立図書館

TEL0422-51-5145(中央)

図書館ホームページで蔵書検索、貸出・予約状況確認、延長手続き、読書記録、お気に入り資料の登録ができます！

URL <http://www.library.musashino.tokyo.jp/>

モバイル版 URL <http://www.library.musashino.tokyo.jp/m/>

「大活字本(別置記号L)、LLブックをご存知ですか？」

この頃、文字の細かい本はちょっと辛いものがある。テレビCMでも、「世の中、字が小さすぎる！」というフレーズ、聞き慣れたような・・・

そんな時、図書館にある大活字本(別置記号L)にも手を伸ばしてみませんか。

もともとは、弱視の方が主な対象にされてきましたが、近年は、小さな文字で読むのがちょっと辛いけど、本はこれまでのように読みたいという方々にも利用されるようになりました。ただ、片手に収まる1冊の文庫本が、A4サイズのノートくらいの大きさになり、更に3冊に分かれてしまったりと、持ち運びには不便がありますが、メガネをかけなくても楽に読めるというのは、それを上回る利点になるかもしれません。

今回は、本が好きなのに、細かい文字が・・・、ややこしい書き方では少し疲れてしまうから、わかりやすく、絵や写真が多くて、スッキリしているのが一番・・・ そんな方のために、武蔵野市の図書館から、お役立ちコーナーをご紹介します。

そもそも、大活字本ってなんですか？



弱視者用に大きな活字で印刷された本、大型活字本ともいう。実際には、印刷方式にかかわらず、文字の大きな図書の総称としても用いられる。具体的には、〈1〉大きな活字で版を組み直す、〈2〉原本を電子式複写機などで拡大する、〈3〉手書きやコンピュータを用いて拡大写本を作成する、などの方法で作成される。〈1〉によるものが弱視者にとっては最も読みやすいと言われている。日本では1996(平成8)年に、大活字本の専門出版社として株式会社大活字が設立された。

出典：「図書館情報学用語辞典 第4版」

武蔵野市の図書館には、3館あわせて約3千冊の大活字本の所蔵があります。本の背ラベルの最初に「L」の文字がついている本です。中央図書館なら2階に、吉祥寺図書館は地下1階、プレイスも、地下1階にコーナーがあります。最近は、人気のベストセラー本も、大分早く、大活字本で販売が行われるようになってきました。中央図書館の書庫にもたくさんありますので、表の書架に出ていなくても、検索してみてください。また、カウンターにてお尋ねください。



LLブックって、なんですか？

《LLは〈スウェーデン語〉Lättläst（レットラスト・読みやすい）の略》です。

知的障害や発達障害のある人などが読みやすいよう、写真や絵、絵文字、短い言葉などで構成された本。「LL」は、スウェーデン語で「やさしく、読みやすい」を意味する言葉の略。同国で1960年代から出版が開始された。当初は知的障害者向けに刊行されていたが、現代では高齢者や移民、認知症の人など、読むことに困難を伴いがちな幅広い層へと対象が広がり、北欧を中心に普及している。日本では障害者の支援団体などが制作しており、少しずつ認知が広がっている。 出典：インターネット DB「JapanKnowledgeLib」より「知恵蔵 mini」

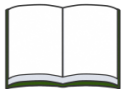
中央図書館では、2階のエレベータ傍に、LLブックコーナーとして、本を置いています。まだまだ50冊ほどのコレクションですが、ご利用ください。

お料理、美容の本なども、余白をゆったりと取った大きな字で、写真や絵を多用して作られています。



自分で、大活字本や、LLブックの読みたい本を検索してみたいけど、どうすればいいの？

図書館のホームページからなら、詳細検索の中に「別置記号」を選ぶ欄があります。そこに「大活字本」「LLブック」を選んで入れてください。読みたい書名や、作家が決まっているのなら、その項目も入力します。図書館内の検索機 OPAC でも同様です。



マルチメディアデージーをご存知ですか？

文章を読み上げる音声を聞きながら、パソコンの画面上で絵や写真を見ることができるデジタル図書のことです。読み上げ部分がハイライトされるため、どこを読んでいるか、どう読んだらいいのかが聴覚や視覚から理解しやすく、読み書きに困難があるお子さんや、加齢により字が読みにくくなった方などの読書をサポートします。現在約600点の所蔵があります。利用するには、事前登録が必要です。中央図書館、障害者サービス担当までご相談ください。

2019年に「読書バリアフリー法」が施行され、情報入手に困難のあるあらゆる人たちの情報環境が改善される社会の実現が求められています。図書館でも様々な取り組みをこれからも行っていきます。

📢 図書館サービスいろいろ NEWS

図書館では、おはなし会や映画会など色々な行事に参加することができます。また、調査研究用のインターネット検索パソコンやAV視聴ブース(中央)を利用することもできます。

NEWS

1

令和2年度、武蔵野市の図書館では、「武蔵野市子ども読書活動推進計画」を改定するため、委員会を設置しました。「本離れ」といわれる子ども達に図書館や学校、地域がどう関わっていくことができるのか、1年間かけて検討・議論していきます。